

高等部1、3年 観光科 学習指導案

日 時：平成29年9月13日(水)10:30~12:10

場 所：高等部1年教室、青空ひろば横

生 徒：男子4人、女子2人 計6人

指導者：〇〇〇〇 T1、〇〇〇〇 T2

〇〇〇〇 T3

1 題材名 ブルーベリーが販売されるまでを知ろう

2 題材の目標

- (1) エコニコ農園のブルーベリー栽培の収穫量、全国からの注目度、生産から消費までの流れを知る。
- (2) エコニコ農園の方々と関わり合いながら、除草等の作業が地域の役に立つことを理解し、地域に貢献する。

3 生徒と題材

(1) 生徒について

本グループは1年生男子2名、女子2名、3年生男子2名の計6名の学習グループである。高等部の観光科では、せんぼく校開校からエコニコ農園でのブルーベリー栽培の協力を学習活動として取り入れている。この学習グループ6名は、全員が今年度初めてエコニコ農園での学習活動を行っている。エコニコ農園では、「無農薬栽培」の手伝いを実際に経験し、除草をしたり、土壌に栄養を与えたりすることが、より糖度の高いブルーベリーを育てることにつながることを学びながら作業の手伝いを行ってきた。

エコニコ農園の広大な土地に植えられた1万本以上のブルーベリーの木を全て人の手で管理することは大変な労力を要することであるが、繰り返し栽培を手伝い、エコニコ農園の方から「ありがとう」と感謝される体験を繰り返すことで、役に立てたという喜びを生徒は感じ始めている。活動前後の学習として、ブルーベリー栽培における、無農薬栽培の意味などを学習する機会を設けてはいるものの、収穫後の加工、流通の過程、収穫量、全国からの注目度などの深い知識についての理解は十分ではないため、この点に関しての学習を重点的に進めている。

(2) 題材について

本単元では、仙北市の観光資源としてのブルーベリー栽培に携わりながら、ブルーベリーの収穫後の加工、流通について学習する。収穫されたブルーベリーがエコニコ農園で冷凍保存されたり、ジャムに加工されたりして、通年を通して販売されていることを学ぶ。その過程が、一般的なブルーベリー栽培や加工とどのような違いがあるのか、無農薬栽培の観点から比較することで、無農薬で栽培されるエコニコ農園のブルーベリーの特徴が分かると考える。

さらに、実際にエコニコ農園の方から話を聞く場を設定することで、収穫量や全国からの注目度を知り、仙北市への観光面での貢献度の大きさを理解することにつながる。また、季節を問わず、より多くの人が、エコニコ農園のブルーベリーを食べて喜んでもらえるように、生食だけではなく、冷凍したり加工したりする必要性を理解できる。エコニコ農園の方と一緒に活動し、知識を得て感謝される体験を重ねることで、自分たちの行ってきた活動がエコニコ農園の助けになり、役に立てたという実感をもてるのではないかと考え本題材を設定した。

(3) 指導について

<主にエコニコ農園での活動>

- ・「ブルーベリー～エコニコ農園の協力」の活動内容が分かるように、事前にエコニコ農園を訪問し、農園経営や畑作業について説明を聞いたり、実際の作業場を見学したりする。
- ・自分たちで活動しようとする気持ちをより高められるよう、リーダーの生徒が事前に電話で活動内容を問い合わせたり、活動後の感謝を伝えたりする。
- ・活動を振り返って次回の活動に生かせるように、事前事後学習で、次回の作業内容と注意、個人目標とその達成度などを確認する場を設ける。
- ・ブルーベリーの流通や加工について分かるように、エコニコ農園の方の話を聞いたり、質問したりする場を設定する。

<主に校内での学習>

- ・エコニコ農園の概要がより分かりやすくなるように、写真や動画(ビデオ)を使用する。
- ・生徒が互いの意見を見合えるように、用紙やホワイトボード、付箋紙などを用意する。
- ・挙手をして発表することに自信がもてない生徒が過度に緊張しないよう、事前に発表の順番を決める。
- ・用紙や付箋紙などの使い方が分かり、自分たちで考えを出し合えるように、教師が演示し手本となる。
- ・学習が積み重なり理解を深められるように、理解度に応じた学習シートを準備し記入する場面を設ける。
- ・今日の学習の目標とその達成度を実感できるように、感想を発表し合う場を設ける。

- ・生徒Cは座学ではなく、校地内でブルーベリー栽培をする為の準備活動に取り組む場を設ける。
- ・生徒が学習の進め方が分かるように、毎時間の授業の構成を統一し、繰り返す。

4 指導計画（総時数32時間）

題材名・主な学習活動	時数	主な目標
「エコニコ農園を知ろう」 ・エコニコ農園への事前挨拶 ・エコニコ農園の見学 ・わらび座の規模、集客、仙北市への貢献度の聞き取り	5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・エコニコ農園へ挨拶し、担当者の方の名前を覚える。 ・エコニコ農園を見学し、農園の規模や自分たちの行う活動内容を知る。 ・エコニコ農園の方から話を聞くことで、わらび座の仙北市への貢献度を知る。
「ブルーベリーが販売されるまでを知ろう」 ・除草 ・炭団子作り ・摘み取り ・消費 ・加工	27時間 (本時26~27時)	<ul style="list-style-type: none"> ・幹を傷つけないように注意して、幹周辺の草を刈る。 ・炭団子に期待される効果が分かり、話をよく聞いて炭団子を作る。 ・実をつぶさないように注意して、一粒一粒丁寧に摘み取る。 ・摘み取ったブルーベリーの販売場所や取引先などを知る。 ・ブルーベリーの加工方法が分かる。

5 本時の計画（32時間中の31~32時）

(1) 本時の目標

- ・観光客のために年間を通して販売につなげるために、ブルーベリーを冷凍保存したり、加工したりしていることが分かる。
- ・道具の使い方に気を付けて、ブルーベリー畑の土作りをする。【生徒C】

(2) 生徒の実態及び目標と手立て

生徒	本時に関わる生徒の実態	本時の目標	手立て
A 3年 (男)	・収穫されたブルーベリーが、生食やジャムに加工され、県内外で販売されていることを理解している。	・ブルーベリーを冷凍保存、加工して販売する理由が分かり、発表する。	・発表しやすいように、キーワードをカードに書いて掲示する。
B 3年 (男)	・収穫後のブルーベリーが畑の直営店で販売されているのを見て分かっているが、加工、冷凍等についてはまだ知らない。	・どのような加工がなされ、どこで販売されているかが分かり、付箋紙に記入し発表する。	・端的な言葉で答えを表記し、正しい答えに導く。
C 1年 (男)	・手先を使った細かい活動は苦手だが、一輪車の使い方は分かり、バランスを保ちながら草や土を運べる。	・一輪車を使って、決められた場所まで土や草を運ぶ。 ・スコップを使って土や草、石灰を混ぜる。	・運ぶ場所が分かるように、目印の木杵を用意する。 ・草を細かく刻み、一度に混ぜる量を少量にする。
D 1年 (女)	・流通に関する知識は十分ではないが、除草や摘み取りなどの注意点を理解しており、注意点に気を付けながら活動してきた。	・農園の方の話をもとに、加工して販売する理由を考え、自分の言葉で付箋紙に書いて発表する。	・キーワードが書かれたカードを指さして、「カードをもとに考えよう」などと言葉掛けする。
E 1年 (男)	・「ブルーベリー」のプロジェクトリーダーである。流通に関する知識は十分ではないが、今まで経験した活動の意味や注意点を理解している。	・ホワイトボードに貼られたカードをもとに、加工して販売する理由が分かり、付箋紙に書いて発表する。	・キーワードが書かれたカードを指さして、「ジャムにすると食べられる期間はどのようになるだろう」などと言葉掛けする。
F 1年 (女)	・流通に関しての知識はまだないが、これまでの活動の正しい注意点を示された選択肢の中から選べる。	・用意された数枚の付箋紙の中から、学習した内容に沿った紙や自分の考えに近い紙を選び、用紙に貼る。	・自分の考えを友達に伝えられるように、平仮名で単語を記入した付箋紙を用意し、選ぶ場を設ける。

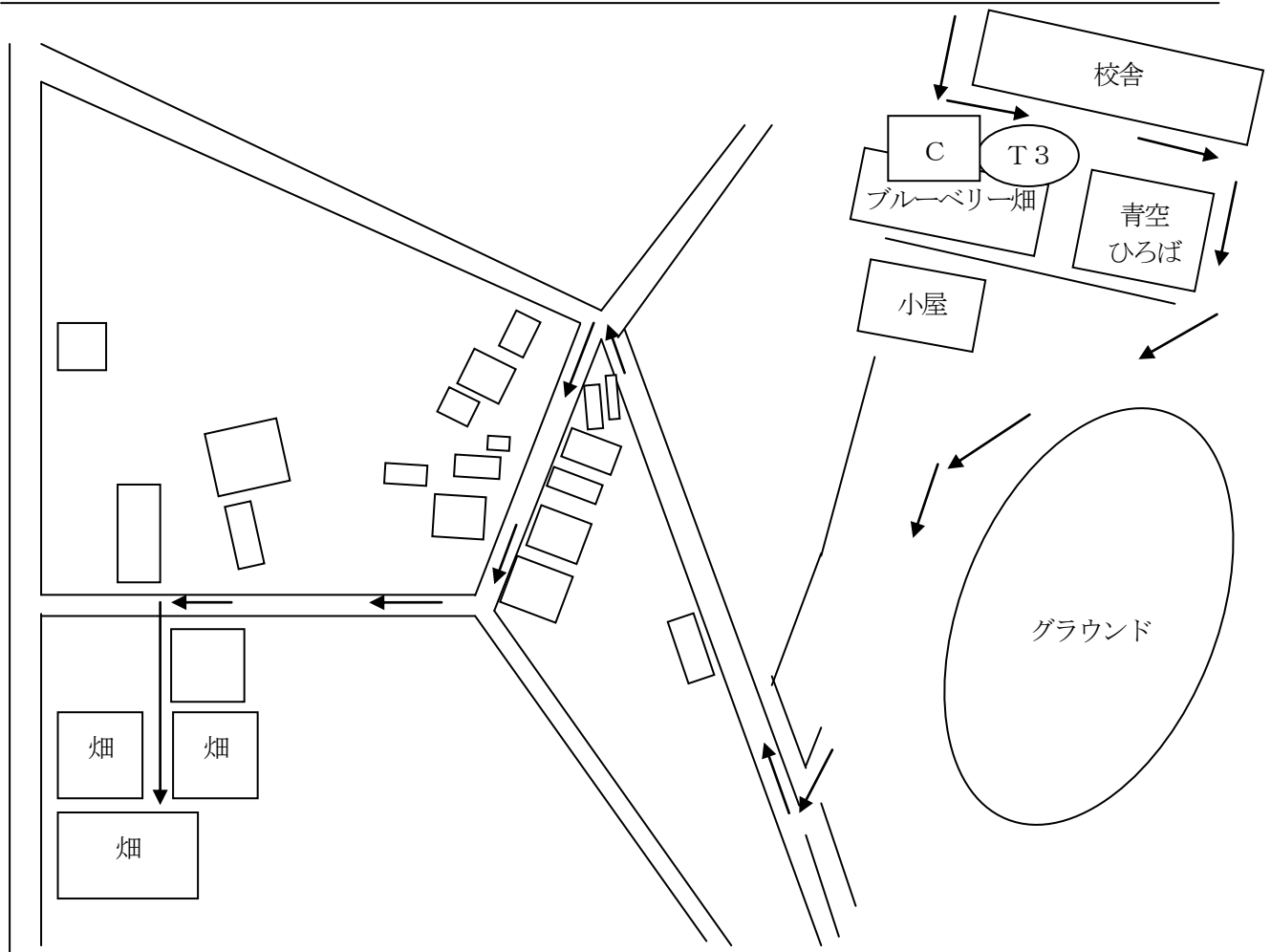
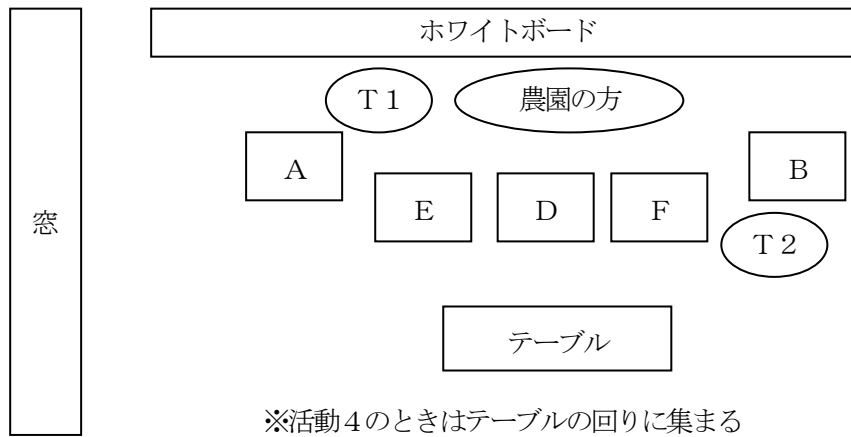
(3)展開

時間	学習活動	指導の手立て及び留意点				
5分	1 本時のめあてと活動内容を知る。 ◇本時のめあて ブルーベリーを凍らせたり、加工したりする理由が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と学習内容が分かるように、これまでの学習を振り返る場を設ける。 全員が本時の学習目標が分かるように、目標を記入したカードを掲示する。 本時のゲストティーチャー（エコニコ農園の方）を紹介する。 				
15分	2 エコニコ農園のブルーベリー栽培・流通に関するDVDを見る。	<ul style="list-style-type: none"> ブルーベリー栽培の手伝いの意義や、エコニコ農園の全国からの注目度、その理由などが分かるように、キーワードとなる言葉をカードに書いてホワイトボードに貼る。 				
20分	3 ゲストティーチャーの話を聞く。 ① 普段働いている人の数 ② ブルーベリーの売れ行き ③ 摘み取り体験の来客数 ④ 加工について （実物を用いて） ⑤ ゲストティーチャーからの発問	<ul style="list-style-type: none"> 売れ行き、来客数などのイメージがもてるように、ゲストティーチャーの話に合わせて、T1がホワイトボードに売れ行きや来客数などを示した表を掲示する。 ゲストティーチャーの話の要点が分かるように、キーワードとなる言葉をカードに表記し、ホワイトボードに貼る。 防草シートの片付けや加工などの手順が分かるように、昨年度の活動写真を提示する。 摘み取り体験だけでなく、加工して販売するのはなぜか考えられるように、ゲストティーチャーにきっかけとなる発問をお願いする。 				
40分	4 「摘み取り体験だけでなく、加工して販売するのはなぜか」について、意見を出し合って、用紙にまとめる。 ◇期待する意見の例 ・観光客のため ・加工品は保存がきく ・加工することで通年販売できる ・たくさんの観光客に食べてもらいたいから ・・・など	<ul style="list-style-type: none"> 分からないことがあればゲストティーチャーに質問することをルールとし、ルールをカードに書いてホワイトボードに掲示する。 出し合った意見を自分たちで整理できるよう、付箋紙と用紙を用意し、質問を用紙一枚につき一つ記入する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">F</td> <td>自分の考えを友達に伝えられるように、単語を記入した付箋紙を使用する。</td> </tr> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">B</td> <td>質問の意図が正しく伝わるように、T2がホワイトボード（小）に文字表記しながら思考を整理する。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 本時のキーワードとなるような言葉が出た際には、T1が全体に伝え、思考を促すきっかけとする。 	F	自分の考えを友達に伝えられるように、単語を記入した付箋紙を使用する。	B	質問の意図が正しく伝わるように、T2がホワイトボード（小）に文字表記しながら思考を整理する。
F	自分の考えを友達に伝えられるように、単語を記入した付箋紙を使用する。					
B	質問の意図が正しく伝わるように、T2がホワイトボード（小）に文字表記しながら思考を整理する。					
15分	5 本時の学習で分かったことを学習シートに記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が、感想のみの発表ではなく、「今日の学習で分かったこと」を話せるように、発表の仕方を決めておく。 今日の学習のキーワードとなる言葉を使って発表した生徒がいた際は、その言葉を印象付けるように全体に伝える。 				
5分	6 本時を振り返り、次時の活動内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が、今日の学習を通して何を学んだかが分かり次時への期待感がもてるように、端的な言葉で印象付ける。 				

【生徒Cの活動内容】

時間	学習活動	指導の手立て及び留意点
5分	1 青空ひろば横へ移動し、道具の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> 準備する道具が分かるように、T3が「一輪車、レーキ」などと言葉掛けし、指さす。
50分	2 農耕班の畑から青空ひろば横へ刈り取った草を運ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 刈り取った草を運ぶ場所が分かるように、目印を立てる。 農耕班の畑とブルーベリー畑間を間違わずに行き来できるように、教師が前を歩く。 段差がある場所では、一輪車を引いたり、強く押ししたりして自分で工夫して段差を乗り越えられるように、自分で動き出すまで待つ。
20分	3 運んだ草を土、ピートモスと混ぜる。	<ul style="list-style-type: none"> 混ぜやすくなるように、草を細かく切る。 混ぜた土を入れる場所が分かるように、穴を掘っておく。
15分	4 片付け、着替えをして多目的室2へ移動する。	<ul style="list-style-type: none"> 片付ける場所が分かるように、「一輪車、レーキ」などと言葉掛けし、指さす。

(4) 配置図



(5) 準備物

- ・目標カード ・学習シート ・表 ・キーワードカード ・昨年度の活動写真 ・ルールカード ・付箋紙
- ・用紙 ・ホワイトボード (小) ・一輪車 ・レーキ ・ピートモス ・目印

(6) 評価の観点

- 生徒
 - ・ブルーベリーを冷凍保存したり、加工したりしている理由を考え、付箋紙に書いたり、発表したりして自分の意見をまとめられていたか。
 - ・一輪車や移植べらなどの道具の使い方が分かり、土作りをしていたか。【C】
- 教師
 - ・食品を冷凍したり、加工したりして販売する理由が分かるための用紙や学習シートの様式になっていたか。
 - ・エコニコ農園の方と連携した本時の授業は、知識やエコニコ農園の役に立てたという実感を得ることにつながっていたか。
 - ・生徒が道具の使い方が分かるための言葉掛けや教師の演示は適切であったか。【C】